

合併症対策と検査のすすめ

透析事業本部合併症対策分析・広報部

桜井 寛 課長に聞きました

合併症対策

『セントラルクリニックの最大の特徴は、共立病院の高度先端医療機器や各合併症センターが隣接していることです。偕行会のクリニックでは、合併症を早期に発見するために、定期的な検査を行い、異常があればすぐに共立病院での治療が行えるよう連携しています。その結果、偕行会グループで透析を受けている方の5年間の生存率は、全国平均よりも2割近く高いことがわかりました』。

どのような合併症に、どんな検査があるのですか？

循環器系合併症

心臓の病気は直接生命をおびやかすので、早く発見し、早く治療することが大切です。そのため定期的に心臓の検査を行

っています。直接死に直結する心不全や心筋梗塞の対策として心臓エコーや、24時間体につけて不整脈を発見するホルター心電図などの検査を行

います。また心電図の電極を付けたまま、回転するベルトの上を歩いて負荷をかけ、心電図の異常を発見するトレッドミル負荷心電図検査も行っています。

下肢の閉塞性動脈硬化症 (ASO)

血管の動脈硬化により四肢の動脈が閉塞して血液の流れが悪くなり、足がしびれたり歩くの

が困難になる等の症状が現れます。放っておくとやがて血流がなくなって足が壊死に陥り、切

断という最悪の事態にいたることもあります。ABI・TBI検査で両腕、両足首の血圧を測定して、血管の硬さや詰まり具合を調べ、動脈硬化(下肢動脈の狭窄・閉塞性疾患)を診断します。

消化器系悪性腫瘍

便に血液成分が混在しているかないかを判定する便潜血

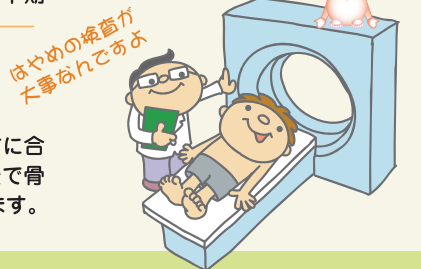
検査、または腹部超音波エコー・CT画像検査を交互に行い、悪性腫瘍の早期発見、早期治療に努めています。また、共立病院の内視鏡センターの活用で早期

の段階で消化管の異常を発見し、内視鏡治療を行うことで、透析患者様の大腸がんによる開腹手術も減っています。

アミロイドーシス機能障害

アミロイドとよばれる異常なたんぱく質が、骨・関節に沈着して痛みを伴う機能障害疾患で、長

期維持透析を受けている方に合併する病気です。MRI検査で骨の形状、状態の検査を行います。



はやめの検査が大勢なれどあま

長期の透析治療の間にはさまざまな合併症がおこります。そのため患者様にすやかに透析生活を送っていただくために必須なのが合併症対策です。合併症の早期発見・早期治療のため、定期的な検査の大切さをご理解いただくために、主な合併症とその検査内容を私たちがお伝えします。

(聞き手・山内豊佳)

偕行会愛知透析医療事業部

熊沢 ひとみ 副部長に聞きました

なぜ、症状がなくても検査が必要なのですか？

『透析患者様は糖尿病が原因の方や高齢の方が多く、さまざまな合併症、特に心臓と血管の合併症で深刻な状態を抱える方が増えています。そのため私たちは合併症の定期的検

査による早期発見をととても重要なことと考えています。まずは基礎的な検査をし、もし異常が認められた場合、それに応じた検査を進め、発見時に早期治療に努めています』。

透析導入時にすでに狭心症が始まっている方は多いのです

『狭心症と心筋梗塞は心臓に血液を送る冠動脈という血管が詰まっておこる病気です。透析を受けている方は常に体液の量が過剰で、

また血管の石灰化がおこりやすいためこの冠動脈が詰まりやすく、狭心症と心筋梗塞になる割合が高くなってしまいます』。

心電図は無症状の狭心症を見逃しません

『透析患者様、特に糖尿病の方には感覚神経機能が低下しているため、胸の痛みに対して自覚症状

がないまま突然倒れてしまうこともあります。そのため心電図での定期的な検査が必要となります』。

画像検査がなければ癌の発生がつかめません

『CT・MRIなどの画像検査を行うことで悪性腫瘍(がん)の早期発見に努めています。共立病院ではあらゆる

合併症に対応できるよう検査・治療もできる画像系検査には最新の装置を導入していますから安心です』。

合併症パスの目的を教えてください。

『これらの合併症対策をしっかりとして進めていくにあたり、クリニックでは患者様の症状を見落とすことのないよう、誰がみても同じ診療ができるよう合併症パス(検査計画)

をつくっています。このパスによってスタッフ全員がきめ細やかな対応ができるのです。どうぞ積極的に検査を行って合併症の早期発見、早期治療に努めてくださいね』。

定期的に行う検査

血液検査……2回/月
透析の効率、食事管理の状態、貧血、その他、全身の状態をチェックします。

胸部レントゲン……1回/月
DWの指標にしたり、肺・心臓の状態をみます。

心電図……1回/1~2ヶ月
不整脈など心臓に異常がないか確認します。

便潜血検査……1~2回/年
消化管のどこかで出血をしていないか調べます。

腹部エコー……1~2回/年
腹部CT……1~2回/年
腎臓、肝臓などの腹部に異常がないか確認します。

心臓エコー……1~2回/年
ホルター心電図……1~2回/年
(トレッドミルテスト1回/年)

その他に…

患者様の疾患に合わせた検査を個別に行います。

関節MRI、頭部CT、MRI
心臓カテーテル検査、
胃カメラ、大腸ファイバー
下肢エコー など…